

2018 A 日程 LS [0827]

受験番号

2018 年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

専門論文試験
民事訴訟法・刑事訴訟法
(120分)

受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は2ページである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は民事訴訟法と刑事訴訟法各1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 解答は、該当する科目の解答用紙を使用すること。解答用紙を誤った場合、その答案は無効となる。
5. 答案は、横書きとする。
6. 答案は、実線内の番号に従って書き進めること。
7. 答案は、黒ボールペン（但し、フリクション等の消せるボールペンは不可）または黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答案は、無効となる。
8. 答案を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
9. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
10. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

専門論文試験 民事訴訟法

【問題】

以下の各〔設問〕に答えなさい。

〔設問 1〕

将来給付の訴えが許される場合について、具体例を挙げながら説明しなさい。

〔設問 2〕

訴訟委任による訴訟代理人について説明しなさい。

〔設問 3〕

既判力の作用について簡単に説明しなさい。

専門論文試験 刑事訴訟法

【第1問】

逮捕の種類と各逮捕手続の概要（引致まで）について説明しなさい。

【第2問】

訴因の意義、訴因変更の要否、可否について説明しなさい。

【第3問】

医師の作成する診断書の証拠能力について説明しなさい。